

2020年8月6日Ver. 3<文部科学省> 「学校の新しい生活様式」

夏季休業中の8月6日、文部科学省より新しい「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生マニュアル」が提示されました。これを受けて、川上中学校では感染症対策に十分留意していきたいと思いますが、生徒の皆さん、各ご家庭の皆さんもぜひ一読いただき、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減させていきましょう。ご協力よろしくお願いいたします。

1 基本的な感染症対策の実施

(1) 感染源を絶つこと

- ①発熱等の風邪の症状がある場合は、自宅で休養することを徹底します。
→レベル2・3の地域では同居の家族に風邪症状が見られる場合も登校させないようにしてください。
- ②登校時、生徒の検温結果及び健康状態を把握します。(家庭で検温していない生徒は学校で検温および健康観察をします。)
- ③登校時に発熱等の風邪の症状が見られる場合には、該当生徒を安全に帰宅させ症状が無くなるまで自宅で休養するように指導します。

(2) 感染経路を絶つこと

- ①手洗い 様々な場所にウィルスが付着している可能性があるため、外から教室等に入る時やトイレの後、給食の前後などこまめに手を洗うことを徹底します。手洗いは30秒程度を心がけ、水と石鹸で丁寧に洗います。
- ②咳エチケット 咳・くしゃみをする際は、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖、ひじの内側などを使って、口や鼻を押さえます。
- ③清掃・消毒 以前より放課後などの時間を利用し職員が学校施設の消毒は行ってきましたが、8月の改訂により、通常の清掃時に生徒が消毒作業を行ってもよいことになりました。清掃時にもポイントを絞って消毒を行います。

(3) 抵抗力を高めること

- 免疫力を高めるために、「十分な睡眠」、「適度な運動」および「バランスの取れた食事」を心がけるようにしましょう。

2 集団感染リスクへの対応

(1) 「密閉」の回避

- ①窓のない部屋の場合、常時入り口を開けておいたり換気扇を用いるなど、換気に努めます。また使用時は密にならないように配慮します。
- ②体育館のような広い天井の高い部屋でも、感染防止の観点から換気に努めるようにします。
- ③エアコンを使用している部屋(川上中ではランチルームや保健室など)でも、室内の空気と外気の入れ替えを行うために換気を行います。

(2) 「密集」の回避

- 可能な限り身体的距離を保っていきます。また、身体的距離が確保できない場合は、できるかぎり距離を離し、換気を十分に行うことやマスクを着用することを併せて行うことで「3密」を避けるようにします。

(3) 「密接」の場面への対応

- ①身体的距離が十分に取れない場合にはマスクを着用します。ただし、熱中症対策の観点からも次の3つの場合はマスクを外してもよいです。
 - 1)十分な身体的距離が確保できる場合
 - 2)気温・湿度や暑さ指数が高い日
 - 3)体育の授業
- ②マスクを外す際はゴムや紐をつまんで外し、なるべくマスク表面には触れず、内側を折りたたんで清潔なビニールや布等に置くなどして清潔を保ちます。
- ③布製マスクについては、1日1回の洗濯により、おおむね1か月の利用が可能です。

<感染症対策用の持ち物>

○清潔なハンカチ・ティッシュ ○マスク ○マスクを置く際に必要な清潔なビニールや布等